

## 評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年6月22日

事業所番号	2773600446	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	有限会社 エヌケイカンパニー	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
事業所名	グループホーム さくら	評価調査日	平成 21 年 6 月 18 日
所在地	大阪府交野市妙見坂七丁目6番9号 電話 072-810-2605	評価確定日	平成 21 年 6 月 24 日

【情報提供票より】 (平成21年5月28日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成15年2月1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数 6人
職員数	10 常勤 1人 非常勤 9人 常勤換算 5.2人

## (2) 建物概要

建物の構造	木造 2階建ての(1階～2階部分)
-------	----------------------

## (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	42,000円	その他の経費 (月額)	20,000円	
敷金	無			
保証金の有無	有 200,000円			
(入居一時金を含む)	償却 有 6ヶ月			
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,367円			

## (4) 利用者の概要 (5月28日現在)

利用者人数	6名	男性	5名	女性	1名
要介護1	0名	要介護2	2名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 75才	最低	68才	最高	80才

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	交野病院 西本内科医院 吉田歯科
---------	------------------

## 【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

閑静な住宅地域にあり、「家庭的な団欒」を経営理念とし、利用者は個々に穏やかな生活を送っている。運営者は、管理者兼介護者として、ケアの向上に献身的な努力をしているが、介護方針は職員の自主的な提案を全員で話し合ってから決定している。又、利用者の介護に関する全ての情報は、システム化した電子データとして記録保存し、有能な職員並みの働き手として活かされている

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	前回評価での主な改善課題として、運営方針はすべて、職員との会議や話し合いで決定されている。職員の改善提案等については、職員がノートに自由に書き込みを行って意見を発表し、活用されている。更に、介護の進め方として記録するのではなく、どのように改善するかを、皆で考えて定め、決定した介護計画等は電子記録として保存、利用している
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	運営者は日頃から日常の介護の中で、職員と自由に対話をしながら、問題点等があれば、すぐに検討し、改善策を実施している。利用者の日常の見守りの中での注意事項等については、申し送りと平行して、日報で全員の確認を取っている
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取組み (関連項目: 外部4、5、6)
	運営推進会議の主な討議内容としては、主としてホームの行事報告、その他の報告が行われている。開催回数や検討議題、並びに、地域への認知症に関する広報役としての活動等は、今後の課題である
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7、8)
	現在の利用者には、身寄りの方がいらっしゃらないので、職員は無理のない形で、心の友として、親身の対応と見守りを心がけている。したがって今回は、ご家族アンケートの集計は出来なかった。建物横で番犬を飼育しているが、癒しの相手になり、来訪者を知らせてくれている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	ホームの所在地は近年発展してきた住宅地域で、このホームも6年目となる。運営者は日頃から自治会活動には積極的に参加し、地域に溶け込む配慮を行ってきたが、今年度からは自治会役員として、地域活動を分担している。尚、ホームは小公園の横にあり、毎朝、待ち合わせの小学生、幼稚園児との交流ができる環境にあり、利用者も笑顔で対応している

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
<b>1 理念と共有</b>					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	一般的な家庭の団欒と同じように、利用者同士、更に、職員との関係が団欒できるように理念を掲げている		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「団欒」の掲示を玄関先に掲げており、運営者と職員が日常の介護の中で話し合い、実践の場で活かしている		
<b>2 地域との支えあい</b>					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	運営者は地域の方々と積極的に交流を図っており、今年度は自治会の会計役員として、活動している		
<b>3 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者は外部評価とは関係なく、日常から職員と協議して、改善を実施している		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議ではホームの前回からの行事等の報告事項が行われ、又、各種の情報交換も交えた話し合いが、活発になることを課題としている	○	運営推進会議が地域の将来の福祉向上のための話し合いと、ホームの介護向上への提案、検討会としての働きができるよう、運営課題として欲しい
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	交野市の福祉関係担当課と情報交換が、日常的に行われている		
<b>4 理念を実践するための体制</b>					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	ご家族のある方は現在、利用されていないが、必要な関係資料類は必要に応じられる体制にある		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員がご家族になり代わって親身の介護に当たり、見守りと聞き取りをしている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

### 5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	○	職員のレベルアップ研修、管理者等の代行者の育成等も含めて、今後の重要課題として欲しい
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

### 1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		職員は利用者からの聞き取りで、職員同士の情報の共有を図り、ご本人の理解を深めるよう努めている
--	----	----	---	--	--

### 2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		経営理念の「団欒」に沿うよう職員は利用者の見守りについて、寄り添っている
--	----	----	--	--	--------------------------------------

## III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

### 1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		職員は利用者からの聞き取りで、意向の把握に努めている
--	----	----	--	--	----------------------------

### 2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		職員一同で、利用者のより良い介護への情報を集約し、現状に合った計画書を作成している
--	----	----	---	--	---

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	利用者の介護記録は、電子記録システムに集約されているので、管理者は職員と協議しながら、現状に合った計画を作成している		
<b>3 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	身寄りのない方が殆どなので、事業所の可能な限りの支援を行っている	○	運営者は非常に重い判断をしなければならない場合もありますが、如何なる場合でも、最善の、ご判断をされることを祈念いたします
<b>4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	内科医師、歯科医師の月2回の往診を頂いている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医師、ご家族(殆どありません)、職員で情報交換して、方針を共有している		
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1 その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	職員一同、利用者への言葉かけには十分、配慮している		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来るだけ、ご本人の希望に沿えるように支援している		
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューには出来るだけ応じるように配慮している、準備、片付けの出来る方には、手伝っていただいている。又、屋外のプランターで野菜作りを楽しんで、収穫を楽しみにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		希望には出来るだけ合わせるようにしている、真夏には別途、配慮している

## (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		職員は一人ひとりに出来るだけ合わせて、楽しみごとをしていただけるよう工夫、配慮をしている
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		丘陵地で、道路は坂道ばかりなので、ごく近所と、ホーム隣の公園等の散歩を支援している

## (4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		昼間は玄関ドアを開放している。玄関には、利用者全員の表札を掲げて、近所の方々への挨拶としている
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		避難訓練は職員と一緒に実施しているが、万一の場合に備えて、近所の方々に、ご協力をお願いしている

## (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		その日の職員が、糖尿病の方、2人分を含んだメニューを用意している。メニューは日ごとの新鮮な仕入れ品目から、希望や、カロリーも勘案して提供している
--	----	----	---	--	--

## 2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

## (1) 居心地のよい環境づくり

		81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		建物の外観は周辺住宅と変わらない木造2階建て家屋で、グループホームとしての設計で建てられ、使い勝手と、居心地が良いように工夫されている
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		グループホームとして設計されているので、個室はすべて2窓で各4畳半、室内は広く明るく、利用者は居心地よく、寛いでいる